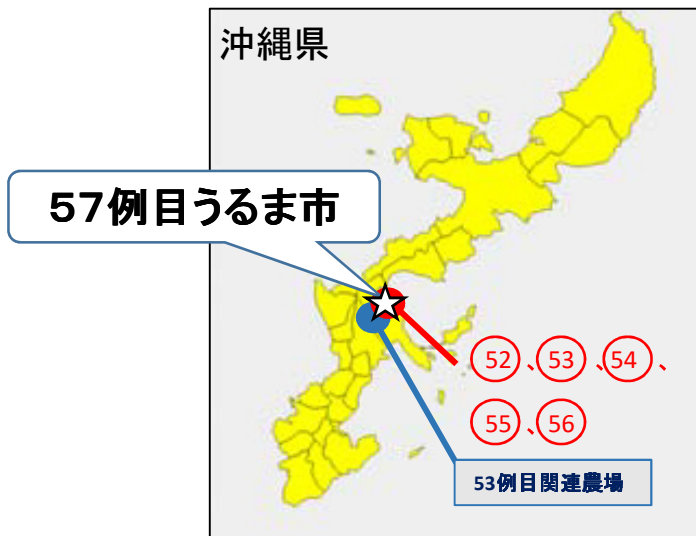


こんにちは 家畜保健衛生所です R2.2.26

沖縄県でCSF(豚熱)が発生(国内57例目)

2月24日、国内56例目の移動制限区域内にある農場においてCSFの清浄性確認検査を行うため、立入検査を実施しました。同日、精密検査を実施したところ、2月25日、CSFの疑似患畜であることが判明しました。



- ・飼料運搬車両、豚の輸送車両等、車両消毒を徹底して下さい。
- ・その他、野生動物の侵入防止、関係者以外の立ち入り制限等、飼養衛生管理基準を遵守して下さい。

国内での発生状況(農林水産省HPより)

◆異常があれば、すぐに家畜保健衛生所にご連絡ください！

※豚が死亡する等の異常があった場合、CSFと違う原因が考えられても、ご自身で判断せず家畜保健衛生所にご連絡下さい。

■CSFの主な症状

発熱、食欲不振、元気消失、便秘、下痢、歩行困難、けいれん、目やに、削瘦、耳や下腹部・四肢等に紫斑、複数母豚の流死産

飼養衛生管理基準

- 農場・畜舎出入口での車両や重機、人の靴底等の消毒の徹底
- 衛生管理区域専用の作業着・長靴の使用
- 野生動物等(犬や猫を含む)の畜舎への侵入防止
- 衛生管理区域に用事のない人や必要でない物を出来るだけ入れない
- 飼養豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報
- 肉及び肉製品を含み又は含む可能性のある飼料を給与する場合は、加熱処理(摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上)を適切に行う

